

令和7年度第2回北杜市図書館協議会会議録

1. 会 議 名：令和7年度第2回北杜市図書館協議会
2. 開催日時：令和7年11月13日（木）午後2時～3時30分
3. 開催場所：金田一春彦記念図書館 SV ホール
4. 出 席 者：協議会委員 佐野 恭子／佐野 隆／仁科 恭子／飯田 久美子／河合 美知子
 内藤 雅人／菰澤 ふみ子
 欠席 白倉 美奈子
 事務局 中澤 徹也(中央図書館長)
 大塚 美智子／河野 明美(中央図書館総務担当)
 深沢 智穂（学校図書館司書代表）
5. 会長あいさつ
6. 議事録署名委員指名：飯田 久美子委員 河合 美知子委員
7. 議 事
 - (1) 令和6年度決算・主な実施報告について
 - (2) 近況報告について【資料1】
 - (3) パソコンの更新について
 - (4) 今後の予定について
 - (5) その他
8. 公開・非公開の別：公開
9. 傍聴人の数：4人

議 事

- (1) 令和6年度決算・主な実施報告について

事務局：令和6年度北杜市図書館事業報告書に基づき、令和6年度決算、利用状況、主な事業について説明。

【質疑応答】

委員：質問ではなく要望を2点。

1点目。5ページの図書館の利用状況や2ページの決算状況は、年度毎の統計となっているため、任期がある図書館協議会の委員という立場を考えると、中期的、長期的な図書館の状況、利用状況、決算状況の推移が把握しにくい。5～10年という中期的な予算額決算額や利用状況の推移は非常に重要だと思う。資料を作成するのは少し面倒かもしれないが、前年度比だけではなく、ここ5年10年の間でどのように推移しているか。そのようなものがわかるグラフを追加していただけると有難い。図書館の状況、現在置かれている状況を正確に把握し、この先どうしたらいいのかというアイディアを出す良い素材になるのではないかと思いますので、可能ならばぜひお願いしたい。

2点目。「土曜ことば楽」について、非常に面白い内容で毎年実施しているが、一過性で終わ

ってしまうっていうのはもったいと感じるのでアーカイブとして保存することは出来ないか。動画や録音データをそのまま使うとホームページのサーバーの制約や著作権の問題等もあると思うので、例えば講演の要旨等を文章化してそれをアップしてはどうかと思う。もし可能ならば、そのようなものがあれば良いと思う。

議長：この件についていかがか。

事務局：まず1点目。報告書自体はこのパターンで毎年出しているの、今後もこの蓄積という形になると思う。決算や利用状況の推移については、協議会用に出すという面で検討していきたい。2点目の「土曜ことば楽」については、講師の先生に許可をいただいて資料等をどこまで出せるのかもと思うので、ご意見を踏まえ、注意していきたいと思っている。

議長：小田切千さんは面白い方なので、どのような話をしたのかがすごく気になった。イベント後に少しでも情報を流していただけると有難いと感じた。
他、何かあるか。

委員：6年度の決算状況の資料で、図書資料費が900万ほどある。北杜市は8館も図書館があるので、この予算を1館当たり100万という形で使うのか、または全体で900万持っているの、全館で購入する本を決めているのか、予算をどのように配分しているのかを紹介していただきたい。

事務局：この900万の内訳として、図書資料と視聴覚資料がある。うち視聴覚は27万という少額になる。図書資料は図書館の規模に応じて大まかな割り振りをしている。その中で、各館毎選書を行い、選んだデータを中央館でまとめ、2週間に一度行う選書会議を経て購入している。北杜市は8館を一つの図書館と捉え、全体で資料の構成をするという方針で購入しているので、選書会議では蔵書のバランスも含め検討している。

議長：その他、いかがか。

委員：図書の購入費は微増ということだが、現在物価が上がっているの、買える本の冊数は少し減っているのか。もちろん1冊ずつの値段も関わってくるので、一概にいくら何冊という比較はできないと思うがどうか。また人件費については、以前、全体の6割ほどだということを聞いたことがあるが、令和6年度は7割以上となっている。これは1人当たりの賃金が上がっているということか、以上2点について教えてほしい。

事務局：物価高というところで、実際本の単価が上がっている部分もあると思うので、極端に何百冊も減ったということはないと思うが、全く影響がないとは言えないと思う。人件費については確かに上がっている。人件費が上がれば図書館の決算全体額が上がる形になるため、その他の図書館の予算が減ってしまうということはない。もともと処遇改善ということも目標の一つとしてあるのでその成果である。

委員：入館者数について質問したい。各図書館の入館者数は、様々な目的で図書館に来た人数か。また、5ページの延べ利用者数は、貸し出しを利用した人数という認識で良いか。

事務局：はい。入館者数は図書館の入口にカウンターを設置してカウントしている。カウンターを2回通ると1とカウントされる仕組み。利用者数は実際に貸出しをした人数。

議長：いろいろなご意見やご質問が出たが、以上でよろしいか。

委員：先ほどの質問に関連して、2ページの決算額の資料費が微増というのはどの程度微増しているのか。

事務局：数万円。ほとんど変わらず横ばいという状況。

委員：確かに本は単価にもよるので冊数だけでは比較はできないが、総務省の消費者物価指数によると、おそらく図書は様々な消費項目の中の教養娯楽という数字のところに分類されていると思う。それによると、5年前の2020年を100としたときに、2025年今年の1月がどのくらいの数字になっているかという、2020年100に対して2025年の1月が115.5となっている。つまり、物価が15.5%上昇しているということになる。資料費がほんの数万円微増ということなのでほぼ横ばい。そうなると、単純に考えると15%ぐらいは買える図書の数が減っているというふうに解釈ができるかなと思う。

議長：買える本はたくさんあればいいと思うので、ぜひ予算が減らないようにお願いしたい。
以上でよろしいか。

他、質疑なし。以上。

議事（2）近況報告について【資料1】

事務局：資料1により説明。その後、事業の様子をパワーポイントにて紹介。

【質疑応答】

委員：紹介していただいた保健センターで行ったちっちゃいとしょかんの話に関連して。自身は心理士をしており、保護者や子どもたちから相談を受ける機会が多い。その中で親子で本を読むということについては、大きく分けて2つの意味があると思っている。その一つは本に親しんだり、本を介して子どもの心を育てるという側面。そしてもう一つは、本を使いながら親子の絆を深めるという所にとっても大きな意義がある。そのような経験をたくさんした子どもは、本当に親子の関係が安定しているという印象を持っている。保護者が子どもを膝に抱いて、優しい声と視線で子供に語りかける。これは特に乳幼児期にとっても必要なことだと思うので、最初のうちは参加者が少なくても、とても意義があることなので、ぜひ続けていただきたいと思います。

議長：他にあるか。

委員：中学や高校のブックトークというのは、1時間の授業の中で行うのか。

事務局：朝の10分、15分で行う。

委員：1冊本を読むという形ではないのか。

事務局：3冊～4冊の本を紹介する。

委員：駆け足で紹介していく感じか。

事務局：方法は職員によって違うが、なるべく興味を持ってもらえるように工夫しながら行っている。

委員：朝の短い時間に行うということだが、できれば何か中学や高校は1時間の中にいろいろ盛り込んで見せてあげたいという思いがあるが、そういう時間はないということか。

事務局：今のところはない。

議長：イロドリ祭に関わった委員がいるので、そのことについて話を聞かせてほしい。

委員：イロドリ祭というイベントを10月18日に高根の総合体育館で開催した。「北杜の子ども

たちにわくわくを、親子に安心を」というテーマで、北杜市で活動している方々に声をかけさせていただいた。北杜市役所の方では図書館とネウボラ推進課、子育て政策課に参加していただき、一緒にこの会を盛り上げていただいた。最終的には大人も子どもも含めて200名余りの方が一緒に作るという形で関わってくれた。参加者は500名ほどあり、両方合わせて700名を超える方に集まっていたイベントとなった。体育館半分を使って小学生のスポーツ少年団を中心にスポーツ体験を行い、もう半分に様々なブースを設けた。最後は乳幼児から中学生までの子どもがステージの上に乗し、みんなで一緒に歌ったり踊ったりしながらフィニッシュを迎えたイベントだった。北杜は面白いなということを改めて体感でき、今後も年に一度の開催を目指して動いていく予定となっている。次回も様々な方に関わっていただきたいと思っているので、参加はもちろん、こんなことができる等、声をかけていただけたら嬉しく思う。図書館もとても素敵なブースだった。感謝したい。

委員：このイベントの主催は。

委員：NPO法人ほくと育ちあいのもりノースツリーというNPOで行っている。NPOに加えて毎回イベントを実施する際に、一緒に実施したいという方をチームで集めており、今回は10名程の人数でこのイベントを作っていた。

議長：現在ほくとニュースで放映されていて、知っているお子さんが映ったときに、とても良い表情をしていた。その表情からもとても楽しいイベントの様子が伝わってきた。
その他、何かあるか。

委員：今後はアウトリーチに力を入れていくということで、いろいろなところに出かけて行くということがとても素晴らしいと思った。自身も10年ぐらい前に図書館でアルバイトをさせていただいたが、職員の方は忙しく、なかなか外に出て行く時間が取れないという声を聞いていた。当時も学校にブックトークは行っていたが、行ってしまうことによって残った人がとても忙しいという状況があったので、館長がブックトークに行ったり、いろいろな所に出向くのは、とても良いと思う。大変だとは思いますがぜひ続けていただいきたい。広報誌のタイトルを「とどけーる」に変えたり、そのテーマを作ったということも、とても素晴らしいことだと思うので、息切れすることなく無理なく続けていただければいいと思う。

議長：今後も無理なくアウトリーチの活動をぜひ取り入れてほしい。
他になければ次に進みたい。

質疑なし。以上。

議事（3）パソコンの更新について

事務局：9月に行ったパソコンの更新について概要を説明。その後、新たに追加されたセルフ貸出機のデモとホームページの新機能について説明。

【質疑応答】

議長：パソコンの更新について今説明があったが、意見や質問はあるか。

委員：スマートフォンに利用カードが表示できると聞いたがどうか。

事務局：インターネット登録をすると自分のIDとパスワードが発行されるので、スマートフォンから自分のIDとパスワードでログインすると表示されるようになっている。12月1日発行

の図書館情報誌 87号「とどけーる」の紙面に細かく掲載しているので、ご覧いただきたい。

委員：便利になって有難い。

議長：ホームページもとても分かりやすく見やすくなった。トップページがとても分かりやすくなり、使いやすくなって良い。自宅で手軽に本が予約できるということが最高だと思う。不勉強だが、今までも出来ていたということか。

事務局：出来ていた。

議長：便利な機能を利用して、増々貸し出しが増えれば良いと思う。

委員：新機能のお知らせは、何らかの方法で市民に伝えるのか。

事務局：その予定で進んでいる。

議長：他にあるか。

質疑なし。以上。

議事（４）今後の予定について

事務局：配布物のチラシを基に、今後のイベントについて説明。

【質疑応答】

委員：図書館でたくさんのイベントを実施しているということにすごいなとしみじみ思った。先程の説明の中で、ホームページにもたくさんの情報を載せているというところで、それらは中央図書館で全て取りまとめているのか、または各図書館から上げるようになっているのかを教えてほしい。

事務局：全体のイベントや事業の案内は中央図書館で上げるようにしている。各館のイベントについては各館で上げている。ホームページもまだ変わったばかりなので、ぜひ細かくご覧いただきイベント等にもぜひ参加いただければと思う。

議長：その他、あるか。最後に学校司書から近況を報告してほしい。

事務局（学校司書）：中学校では読書週間が終わったところ。先程、ブックトークに１時間は取れないのかという話が出たが、朝の時間も他の活動が入っている状況。読書活動は、授業に絡めて行っている。例えば今年度は、国語の授業でビブリオバトルを他の中学校と ICT で繋いで行った。また安東みきえさんの小説の続きを、作家になって書いてみるといった、国語の授業に絡めた活動を行っている。図書館での学習のために、読む本だけではなく、調べ学習のための本の充実を図っているところ。委員会活動は、昨年から図書ボランティア委員会という名称になった。図書委員会が単独ではなくなってしまったので、今後は、図書委員会が文化の中心の委員会として活動出来るよう、図書委員という単独の委員会になるように働きかけをしていきたいと考えている。できるだけ活動がスムーズに進むよう、全校で他の先生方も巻き込みながら、いろいろな活動を行っている。

議長：時間の確保が難しいということは、現場では本当に大変なところだと思う。事業報告書の利用状況で気になるのは、中学生の１３歳から１５歳のところが数もパーセンテージも一番落ち込んでいるので、その中学生を図書館にいかにつけるか、本に興味を持たせるかという部分は、やはりここでも考えていかななくてはならないのではないかと感じる。

他、質疑なし。以上。

議事（５）その他

委員、事務局ともになし。

閉会